

水辺・絆プロジェクト2024  
事業実施報告書

⑦株式会社街づくりまんぼう

事業名	きたかみ つつたさか てんぶら 北上川で釣った魚を天ぷらにして食べよう	実施場所	宮城県石巻市中心市街地
申請者	かぶしき まちづくり 株式会社街づくりまんぼう	関連河川名	北上川水系北上川

1. 目的

本事業は、東日本大震災により津波被災した石巻市中心市街地に新たに整備された北上川河口部右岸の堤防一体空間(愛称:かわまちオープンパーク)を利用して、釣りのイベントを行うことで当該空間に対する市民の愛着と誇りを醸成し、持続的な賑わいの創出につながる企画である。参加者は、北上川河口部で自ら釣った魚を、市内在住の料理人に捌いて天ぷらにしてもらい、食べることができる。また、当日利用するベンチ・テーブルを塗装するワークショップを行う。当該イベントは、当初予定していた「かわべでシアター」が台風の接近に伴い中止となったことにより、新たに企画したものである。

2. 実施体制(結果報告)

<主たる実施主体>

■株式会社街づくりまんぼう(主催)

<協力>

■一般社団法人石巻観光協会 ■いしのまき元気いちば

3. 実施内容(開催日時・場所 など)

1)イベント企画調整、告知開始[9月]

2)イベント実施実施[10月14日]

・場所:北上川堤防(かわまちオープンパーク)

・内容:①北上川で魚を釣る(釣りサポートスタッフが餌や針の付け方を指導)

②釣った魚を天ぷらにする(元気いちば内の試食コーナーで捌き堤防上の揚げ場で揚げる)

・参加規模:概ね1,000名

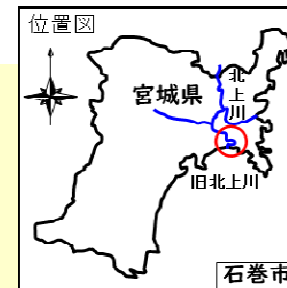
4. 参加対象・参加者数

参加対象:市県内の家族連れ、県外からの観光客

参加者数:釣り申込者289名、来場者概ね1,000名

5. 創意工夫した点・配慮した点・苦労した点 など

・釣り初心者でも気軽に参加できるように貸し釣竿を準備したほか、おもりや針・エサをつけるのを手伝ってくれるボランティアスタッフを配置した。  
 ・釣り竿の貸し出しや天ぷらの提供がスムーズにできるよう検討したが、想定以上の来場者があり、長い方では2時間ほど天ぷらの提供までに時間がかかってしまった。  
 ・総勢17名のボランティアスタッフで望んだが、手が足りなかった。次回以降は運営スタッフの確保が課題である。



6. 総評(実施効果や今後期待される効果、今後に向けての反省点・改善点など)

・周知期間が短かったにもかかわらず、想定を超える多くの方にお越しいただけたのは大変良かった。  
 ・ここでしかできない企画が多くの方の共感を呼び集客や賑わいにつながることを実感した。  
 ・一方で、釣竿の貸出や天ぷらの提供に時間を要しお客様を待たせたことに対するクレームが複数あった。  
 ・本企画は釣りイベントを通じて川に親しみを持ってもらうことが目的であることを鑑みて、サービスの取捨選択を行っていきたい。  
 ・運営には多くのスタッフが必要であることから、釣り好きな方などに広く協力を求めていく。

7. その他感想等(ご自由に記入してください)

・今年で4回目の開催となったが、今回が最も来場者数が多かった。  
 ・釣れた魚はハゼ、スズキ(セツパ)、イシモチなどが多かった。  
 ・釣りや食を楽しむだけでなく、川や自然環境に対する理解を深める機会をつくることで、目的である「川や堤防空間への愛着と誇りの醸成」につながると考える。  
 ・また、釣りイベントによって針や錘などのゴミが多く出た(川底に引っかかった)ことが非常に気に掛かる。  
 ・川の清掃と合わせて、川はどれくらいの深さがあるのか、どんな生き物が住んでいるのかなど、川をきれいにしたたり、川のことを知る機会を設けることができると良いと感じた。

水辺から地域を元気に  
水辺・絆プロジェクト

(様式7-2)

## 事業実施報告書(写真)

事業名

北上川で釣った魚を天ぷらにして食べよう



受付には長蛇の列ができました



岸いっぱいに参加者が並びました



会場は大賑わい



天気も良くてたくさん釣れました



釣れたハゼ



ハゼを掴むお子さん



料理人によって一つ一つ丁寧に捌きました



最長で2時間まちの天ぷら



エビや野菜とともに参加者に提供しました

⑦株式会社街づくりまんぼう

水辺から地域を元気に  
水辺・絆プロジェクト